

2021年5月

第128号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート
Tel. 018-883-1888

「アスリート達の熱い戦いに感動」

連日のニュースではコロナ等のネガティブな話題に溢れ不透明感が漂う中、今年に入ってから「アスリート達」の活躍が明るい話題を呼び多くの人達に勇気と感動を与えている。

2月21日には大坂なおみ選手がテニスの世界4大タイトル戦の一つである「全豪オープン」で優勝した。これまでは自分が思うようにいかなかったときなどラケットを地面に叩きつけたり、感情を剥き出しにする場面もしばしば見受けられたが今回の大会では心のコントロール面でも常に冷静さを保ち、技術面と併せて一回りもふた回りも大きく成長した姿を全世界に見せてくれた。

優勝インタビューでも気負うことなくユーモアを交え試合終了後のファンからのサイン要請に気軽に一つ一つ応えていた姿が印象的だった。

4月12日松山英樹選手が海外メジャー「マスターズ」(ジョージア州・オーガスタ・ナショナル・トーナメント)で優勝した。女子では樋口久子選手に次いで2019年に渋野日向子選手が「AIG女子オープン」で48年ぶりに優勝を果たしているが、男子では松山選手がアジア人初のマスターズ制覇を果たすという偉業をなし遂げた。

松山選手はNHK「クローズアップ現代」番組で紹介されていたが、松山選手の部屋には東北福祉大学元学長萩野浩基氏の揮毫と思われる「才能は有限・努力は無限」という色紙が飾られていた。石川遼選手は米国で松山選手と一緒に、「とにかく徹底的に練習する、一番遅くまで練習している選手だった」と述べている。本人は「ただ、ひたすら上手になりたい、勝ちたい、ゴルフが好きなので努力とは思っていません。」と語っているがグリーンジャケットに手を通したとき、「これからも、もっともっと頑張るって良い成績を上げ、オリンピックに出場できるならば金メダルを取りたい」と抱負を語っている。

国内でも目を見張るような活躍をした選手達があった。

競泳の池江璃花子選手は2年前に白血病で闘病生活に入りリハビリを行いながら病気の治療と体力の回復に努めてきた。体重も15kg 減少し、まだ全面的回復に至っていない。それにも関わらず実に594日ぶりにプールに復帰し、4月の日本選手権では50m・100mの自由形とバタフライに出場し全てに優勝し四冠を果たしたほか、オリンピックメドレーの代表にも選ばれ「努力は必ず報われる」と嬉し涙を流した。

日本生まれではないがモンゴル出身の大相撲「照ノ富士」もすごい。膝の故障と病気のため大関から序二段まで陥落、一時引退も考えたが親方から慰留され頑張った結果、大関に復帰した。これから上への挑戦も見所の一つである。

それぞれの熱い思いやひたむきな努力、不屈の挑戦意欲が私たちにも伝わって来て勇気と希望と夢を与えてくれる。一層の活躍と飛躍を応援したい。

企業のリーダーは読書を



元慶應義塾大学 名誉教授 村田昭治

仕事と読書

昭和電工最高顧問をされた鈴木治雄氏は、すぐれた読書家でもあった。学生時代から文学や宗教に強く惹かれていた鈴木さんは、大学を卒業して実業界に入るとき、「思想的な教養を深めていくことは両立するものでしょうか」と大先輩の経営者に相談されたそうだ。その答えは「すべて心がけしただい。その気さえあれば時間も余裕も充分ある」というものだった。鈴木さんはその言葉を脳裏に刻んで、仕事に全力で当たる一方で読書プランを立ててずっとやってきた。と話してくださったことがある。

鈴木さんは経営という厳しい仕事と読書を両立させてきた経験から、いま心の糧として全ての人、とくに企業のリーダーには古典を読んでほしいと熱く語られた。

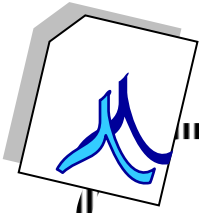
現代のように激動する時代、不確実な時代、価値観多様化の時代においては、自分の人生観、価値基準をしっかりと持ち、自分を見失わずに変化に対応していくことが何よりも大切なのだと教えてくださった。

鈴木さんにはよくお目にかかせていただいたが、経営とはマネジメント以前に人間と社会であるということを知る大切さを、わたしは教わった。インテリジェンス パッションとでもいうべき「人は学べば学ぶほど迷うことが多くなる。その迷うことが、また考えを深めることではないか」とも教えていただいた。

鈴木さんはゲーテもしっかり読んでおられて、ある勉強会では「どんな人にせよ、絶えず努力して励むものをわたしたちは救うことができます」という天使のことばを、「ファウスト」から紹介してくださった。またゲーテは「自分はみんなから幸せな人間だと誉めそやされてきた。しかし自分の人生航路にケチをつけたくないが、実際は苦勞と仕事以外の何物もない。岩をくり返し押し上げようとしながら、岩を転げ落としてきたようなものだ」「ゲーテとの対話」と語っていることを教えてくださった。それを聞いた企業リーダーは大きな勇気を与えられたものだ。

「努力するものは救われる」という言葉を大切にして新たな人生に挑戦する、あるいは常に岐路に立ちながら日々の経験を次の仕事のこやしにして、自分のやり方、考え方を一皮も二皮もむいていこうと感応することは、とても意義があると思っている。日々深く生きる知恵をお持ちだった鈴木治雄さんならではのことばだと、強い感銘を受けた。

『「人を惹きつける経営」より』



バートランド・ラッセル (イギリスの哲学者・論理学者・貴族)

- 1872年5月18日 ラッセル伯爵家の貴族であり、イギリスの首相を務めたラッセル伯は祖父にあたる。
- 1890年 ケンブリッジのトリニティ・カレッジに入学。
その後ケンブリッジ大学で教鞭をとる。
- 1916年 平和運動・婦人解放運動に熱中し大学を解任される。
- 1918年 6ヶ月間、投獄される。
- 1931年 祖父の後を継いだ兄の死去に伴い、ラッセル伯位継承。
- 1938年 アメリカ合衆国へ移住。
- 1944年 イギリスへ帰国。
- 1950年 ノーベル文学賞を受賞。
(人道的理想や思想の自由を尊重する。多様で顕著な著作群を表彰したもの)
- 1955年 核廃絶に対する共通の思いからアインシュタインと「ラッセル=アインシュタイン宣言」を発表。
- 1961年 「百人委員会」(反戦を主張する)を結成。2度目の入獄となる。
- 1970年2月2日 死去。享年97歳。

オススメの BOOK



「いのちのスタートライン」

作者 大久保 淳一 発行 集英社文庫

著者は1964年生まれ、長野県出身。シカゴ大学 MBA 出身。
ゴールドマンサックス(証券会社1999年～2014年)在籍中の2007年に精巣がんと間質性肺炎を併発。5年生存率20%の難病との戦いで一命を取り留めた。現在NPO法人5years理事長を務める。

発病して6年後の2013年にサロマ湖100km マラソンに挑戦。2015年・2016年には自己ベストを更新している。2019年4月にはサハラ(砂漠)250km マラソンに挑戦し完走した。

本書はこうした自己の実体験をもとにした作品。

「自分を評価する時、強いとか弱いとかではなく、一生懸命に生きていればそれでいいのではないか」と述べているが、強靱な思考力と想像力を備え、また、人には優しい実物語である。

コロナ禍で変わった「住宅ローン減税」

人生で最も大きな支出とも言えるのが住宅購入ではないでしょうか。

昨年12月に公表された「令和3年度税制改正大綱」では、減税制度の1つである住宅ローン控除について次の内容がなされました。

【住宅ローンの主な改正点】

■住宅ローン減税の特例措置延長

本来、消費税10%で住宅を取得して、2019年10月1日～2020年12月31日の期間に入居した人が対象でしたが、新型コロナウイルスの影響を考慮し、2022年の12月末までに入居すれば、引き続き13年間の特例が受けられます。

住宅ローン減税は通常10年間、年末時点の住宅ローン残高の1%が所得税や住民税から控除できる仕組みです。その控除期間が2019年の消費税率引き上げ時に、特例として10年間から13年間に延長されました。本来は時限措置ですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮して適用期間の条件が緩和されました。新築注文住宅は2021年9月末、分譲住宅・既存住宅取得の場合は2021年11月末までに契約し、2022年12月末までに入居すれば、引き続き13年間の特例が受けられます。

■対象物件の床面積基準の縮小

これまで住宅ローン控除の適用を受

けるためには、「新築または取得をした住宅の床面積が50㎡以上であり、床面積の1/2以上の部分がもっぱら自己の居住の用に供するものであること」が要件となっていました。この度の改正により、要件とされる床面積が、年間所得1千万以下の人に限り「40㎡以上」に緩和されました。これは単身者や小人数世帯、コンパクトなマンションなどを探していた人には朗報です。

■すまい給付金の適用期間の延長

収入が少ない場合、住宅ローン減税だけでは十分に税額控除のメリットを受けられませんが、すまい給付金は一定以下の所得層に10～50万円の現金を給付して負担を軽減する仕組みです。これも住宅ローン減税の特別措置の延長に合わせ、2022年12月末までの入居が期限となります。

他にも親や祖父母から住宅取得のために資金援助を受けた際の贈与税非課税制度の延長やグリーン住宅ポイント制度の創設などがあります。

住宅購入を予定している人にとって本年度の税制改正と経済対策は追い風となる嬉しい情報です。

ライフプラン（人生設計）で無理のない資金計画を立て、上手に制度を利用しましょう。



アマビエの焼酎



江戸時代から疫病退散のご利益があるという妖怪“アマビエ”コロナの収束を願い色んなグッズがあります。コロナ禍で迎える2度目のGWは不要不急の外出を控え自分や大切な人の命を守る行動をとりましょう。

【編集後記】

大阪府と付近の県並びに東京都は23日にもコロナに関わる3度目の「緊急事態宣言」が出される見通しだ。特に大阪での陽性者が急増しており医療体制の崩壊が気になりとなっている。

秋田県でもこのところ連日学校関係・老人施設関係などから陽性者が出ている。

三密を避け、夜遅くの飲食を控えるように呼びかけても、自分本位の感情で行動している若者たちの行動が心配だ。

ここは、「一人はみんなのため」の心構えで真剣にコロナとの闘いを克服したいものである。